

タブレットを活用した「なりたい職業」プレゼンまでの一連の活動と学習評価 (NEW HORIZON English Course 2 Unit 3 My Future Job)

①話・発

①統合

②個・学

③タブ

④Google スライド

【ここがポイント！】

④Google Jamboard

【考えを表現するために、タブレットの機能を生かし、言語活動を充実させる】

① 情報収集・整理の時間を充実

自分のなりたい職業や興味のある職業について、インターネットで情報を多く収集させる。収集した情報は、自分が使いやすいと思っているアプリケーション（ジャムボードやスライドなど）にまとめさせる。また、発音が分からない単語や熟語について必要に応じて調べさせる。

② 表現する内容の充実

プレゼンテーションにあたって、アプリケーションの限定はせず、生徒たちに選ばせる。付箋機能で話の順序が分かるようすることや画像を上手く使うことで、視覚的な効果を利用して、相手に分かりやすく表現することができた。さらに、録画機能を使って、自分のプレゼンテーションを録画して自己評価を行い、よりよく表現できるようにした。

【実践の目標】

自分のなりたい職業や興味のある職業、あるいは自作の職業について、プレゼンテーションをすることができる。

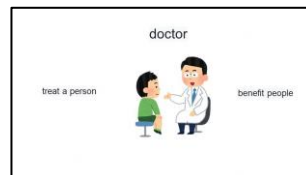
【実際の場面】

1. 情報や必要な表現を調べる

自分のなりたい職業の仕事内容や必要な資格、やりがいなどを調べた。その際、新出表現については音声も一緒に調べさせた。

2. アプリケーションを自分で選び、作成する

多くの生徒は Google Jamboard か Google スライドを選び、作成した。Jamboard ではプレゼンテーションをするためのキーワードを付箋に書いて使ったり、スライドでは画像を有効に使ったりして、より分かりやすいプレゼンテーションを意識して作成した。



3. ペアを替えながら、繰り返し練習する

何度もペアを替えながら練習し、表現を練り直し、Google Jamboard や Google スライドの内容について、互いにアドバイスし合い、プレゼンテーションの質を高めていった。

4. プレゼンテーションの撮影を行う

ペアにプレゼンテーションをする際、自分自身の到達度を客観視できるように、録画機能で動画を互いに撮影し合い、授業の終わりに振り返りができるようにした。

5. 評価を行う

相手意識をもたせるために、動画を撮影して提出させるのではなく、指導者の前でプレゼンテーションを行わせ、その場で評価を行った。

6. 生徒自身で振り返り・評価を行う

Google Forms の機能を活用して、クラウド上で生徒に振り返り・評価を行わせることで、指導者に瞬時にデータが集まり、次時への指導や全体へのフィードバックにつなげることができた。

7. プレゼンテーションした内容を文字に起こさせる

即興性を目指し、キーワードを基に発表させた。「話すこと」と、「書くこと」の指導をつなげるために作成した資料を基に、内容を文字に起こさせた。

【成果と課題】

【成果】

- 英語やジェスチャーだけでなく、自分の考えを画像等の資料とともに伝えることで、相手により分かりやすいプレゼンテーションを行うことができるようになった。
- 前時に撮影した映像を、次時の導入で確認させることで、客観的に自分の姿を振り返ることができ、練習を再開する時の目標を設定することができた。

【課題】

- ループリックを作成して評価を行ったが、指導者がループリックについて理解を深めておく必要があった。ループリックを育成したい資質・能力に対応させ、評価の質を向上させていく必要がある。

廿日市市立野坂中学校



Unit3 My future job プレゼンアンケート

shu027@shuakoshi-edu.jp アカウントを切り替える

このフォームを公開すると、メールアドレスが公開されます。

*必須

クラス・名前を入力してください。*

氏名を入力

あなたは英語の勉強が好きですか。*

好き

どちらかと興味は好き

どちらかと興味は好きではない

好きではない